

Q57. 長期間透析を行っている、さまざまな合併症が起こると聞いています。具体的にどのような病気が起こるのでしょうか。また、それは注意すれば防ぐことが出来るのでしょうか。

A.

長期透析の合併症には様々ありますが、その中のいくつかはすでに解決された問題もあります。（貧血等）現在最も重大な合併症は以下の2つです。いずれも長期透析（腎不全状態が長く続く）と加齢（老化）の因子が重なり合って起こってきます。

〔A〕骨が弱くなる。（骨、関節痛、骨折、手足のしびれ、神経痛）

長期透析が主因となっておこる骨の病気は、①副甲状腺機能亢進症と②透析アミロイドーシスですが、これについてはQ58、Q59、Q63をご参照下さい。それに加えて加齢と共に骨が弱り、簀の子のようになってくる骨粗鬆症という病態も起こってきます。特に女性は閉経後急速に進行します。75才以上の女性は健常者でも半数以上が骨粗鬆症となり、転んだ時大腿骨頸部（足の付け根）の骨折をきたすことがありますので注意しましょう。手足のしびれや神経痛は、手根管症候群の他、頸椎、腰椎の変形や圧迫骨折により神経を刺激して発症します。副甲状腺機能亢進症の予防は食事のリン制限をきっちりとすることです。血清リン値を5.5mg/dl以下に維持するのが目標です。そうすれば副甲状腺ホルモンの分泌を抑える活性型ビタミンDによる治療が有効に行えます。透析アミロイドーシスは、当院において透析歴15年から20年で発症する方が比較的多く見られます。最近は大ダイアライザーが高性能になり、かつ生体適合性も良くなっているため、今後はもっと発症が遅くなるでしょう、又、透析液の純度もアミロイドーシスの発症に関係しています。当院では、エンドトキシン測定機にて定期的に純度をチェックしていますので御安心下さい。アミロイドーシスを予防する食事療法はありません。まず透析を充分に行い、原因物質であるB2MGを除去しましょう。その為に少しでも透析時間を長くするよう心がけましょう。血液透析濾過法（Q12）、リクセル（Q13）も行っています。

〔B〕心臓、脳、血管関連の病気が多くなる。

透析患者さんは尿が出ない為、水分が体内に貯まり、心臓の負担が大きくなります。又、コレステロール代謝の変調が起こる為、善玉コレステロール（HDLコレステロール）が減り、悪玉コレステロール（LDLコレステロール）の働きが強くなり、動脈硬化が進み易い傾向があると言われていています。高血圧が持続することも動脈硬化促進因子になります。又、血液中のカルシウムXリン積が上昇すると血管の中膜に沈着して動脈硬化を促進させます。カルシウムXリン積が55以下にコントロールできていれば大丈夫です。動脈硬化の進展が冠状動脈（心臓を養う血管）に及ぶと狭心症や心筋梗塞を、脳血管に及ぶと脳梗塞、脳出血を起こす危険性が出てきます。心不全及び動脈硬化とそれに伴う合併症を予防するには、適正な水分管理、血圧管理、禁煙、適度な運動（1日30分～1時間の散歩）、バランスのとれた食事管理、定期薬を忘れずに内服することが肝腎で更に、ビタミンB、C、E

剤、カルニチン等の補給もお勧めします。特に高血圧の管理は大切ですので、主治医とよく相談し、その時々合った降圧剤で調節しましょう。

医師